

**防衛省専門職員採用試験(語学)**  
**出題論文課題一覧表**

年 度	課 題
2 5	<p>◇ 「アベノミクス」と呼ばれる経済政策に関して、①その内容を説明し、②世界(日本を含む。)における過去の経済政策との比較(異同)を論じ、③この政策の功罪についてあなたの意見とその理由を述べよ。</p> <p>◇ 国立社会保障・人口問題研究所による2013年の「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」によると、2019年まで世帯総数は増加するものの、平均世帯人員は減少が続き、単身世帯の増加が予想されている。このような単身世帯の増加はどのような要因によると思われるか。また、増加した単身世帯が高齢化した際に想定される問題の解消のために、具体的にどのような仕組みを作っていけばよいかを論ぜよ。</p>
2 6	<p>◇ 国家安全保障に関する基本方針として定めた「国家安全保障戦略」について、(1)前提となっている我が国を取り巻く安全保障環境を述べ、(2)この戦略を実行する司令塔として設立した国家安全保障会議(NSC)について説明し、(3)この戦略で明記された国家安全保障の基本理念である国際協調主義に基づく積極的平和主義について意見を述べよ。</p> <p>◇ 日本政府が提言する「留学生30万人計画」(2008年)は現在も継続しており、日本への留学生数は現在およそ13万人に達している。その約半数の留学生が高等教育機関卒業後、日本での就職を希望している(独立行政法人日本学生支援機構; JASSO調べ)。留学生の日本での就職は今なお増加傾向にあり、日本社会に定住する外国人の人口が増えていくことが見込まれる。 日本への留学生は中国を中心とするアジア諸国からの留学生が圧倒的に多いが、その理由として、どのような背景が考えられるか。また、日本企業が留学生を採用するメリット、デメリットを分析しながら、今も継続中の留学生受け入れ政策を今後どのように展開していくべきか、自分の考えを述べよ。</p>
2 7	<p>◇ 「個別的自衛権と集団的自衛権」及び「個別的安全保障と集団的安全保障」についてそれぞれの特徴を述べ、これらの相関について具体例を用いて述べよ。</p> <p>◇ 文部科学省は現在、グローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小学校における英語教育の拡充強化を計画している。小学校における英語教育の現状について知るところを述べ、今後の改革としてどのようなものが考えられるか、その改革にともなう問題点も指摘しながら、あなたの意見を論ぜよ。</p>
2 8	<p>◇ 『基盤的防衛力構想』、『動的防衛力の構築』から『統合機動防衛力の構築へ』と我が国の防衛力の役割は変化を遂げてきた。 そこでこれら3つの防衛力の役割の特徴、及びその背景について、それぞれ述べよ。</p> <p>◇ 「ゆとり」教育とは、「個性重視の原則」のもと、「新学力観」、「ゆとり・生きる力」を標語として1980年代末に提唱され、2000年代から2010年代初めまで実践された。ここに示されている「新しい学力観」とは、「基本・基礎習得」が重視されてきた従来の観点に対して、学習者の「関心・意欲・態度」といった動機を育むことに焦点を移したものである。 「ゆとり」教育の原案が作成された時代背景を考慮し、これまであなた自身が受けた教育の経験をもとにして、「ゆとり」教育の功罪とあなたの学力観を述べよ。</p>
2 9	<p>◇ 近年、我が国を取り巻く周辺海空域の安全保障が注目されているが、その中で防衛省が行っている「周辺海空域における安全保障の確保に向けた取組」及び「島嶼部に対する攻撃への対応」について述べよ。</p> <p>◇ あなたが乗っていた観光船が外洋で嵐に遭遇して転覆し、あなたを含む乗客の5人が無人島に漂着した。この5人はそれぞれ異なった母国語しか使うことができず、通常の言語交流はできなかった。救助者がいつ到着するか全くわからない状況下で、5人全員が生存するために必要なこと、あなたが実行可能なことを、コミュニケーションのありように焦点づけて述べよ。</p>